

ふれあいバス見直し検討のための意見交換会 開催結果について

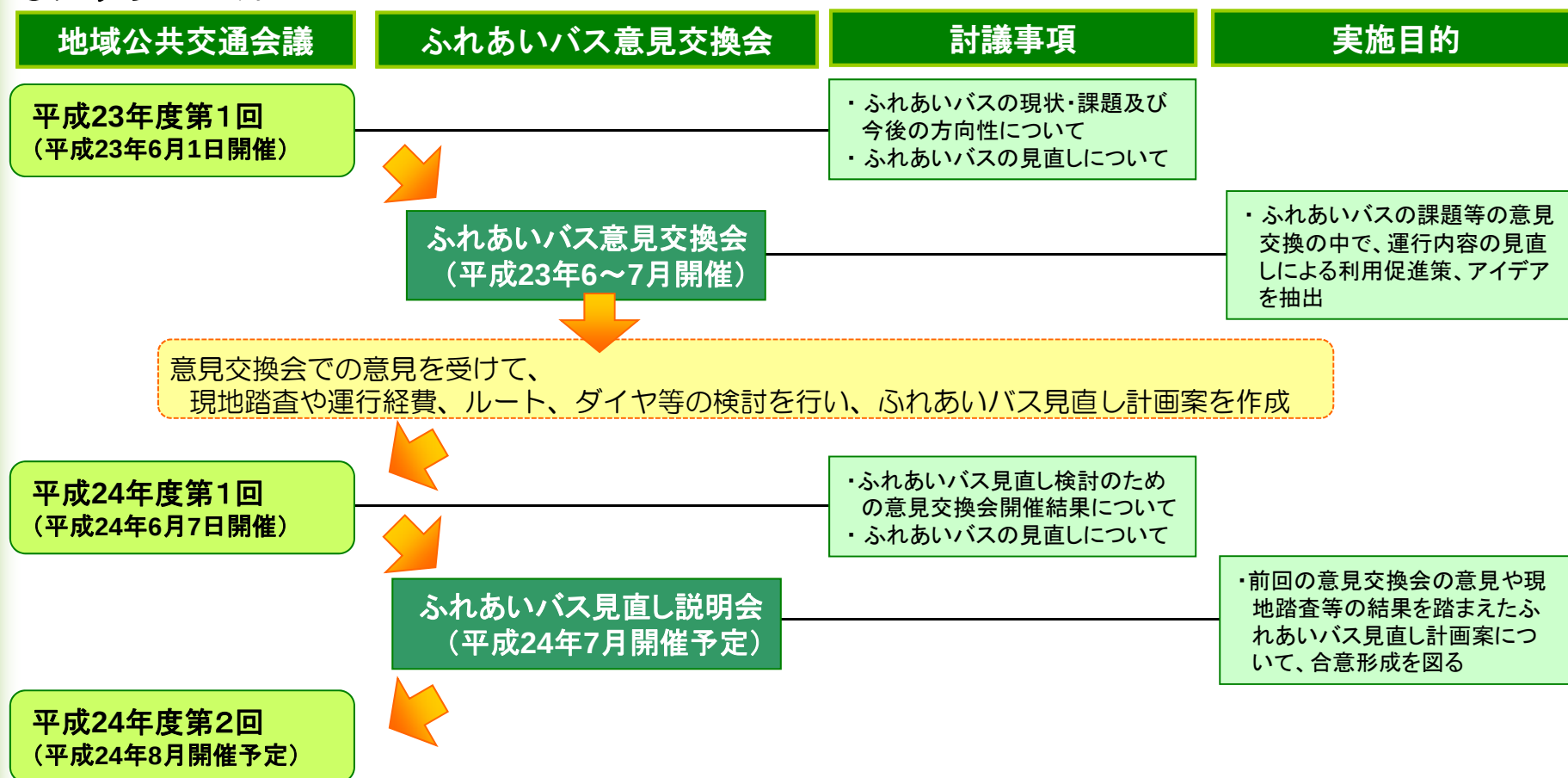
平成24年6月7日
猪名川町

1 意見交換会開催の目的とスケジュール

●目的

- ・ 猪名川町公共施設循環バス「ふれあいバス」見直し計画策定にあたり、地域住民の方と利用実態を共有し、評価、見直しを進めることを目的として、ふれあいバス意見交換会を開催する。
- ・ 平成23年6～7月により地域の声を収集するために、地域の状況を踏まえながら、各地区で意見交換会を開催した。

●スケジュール

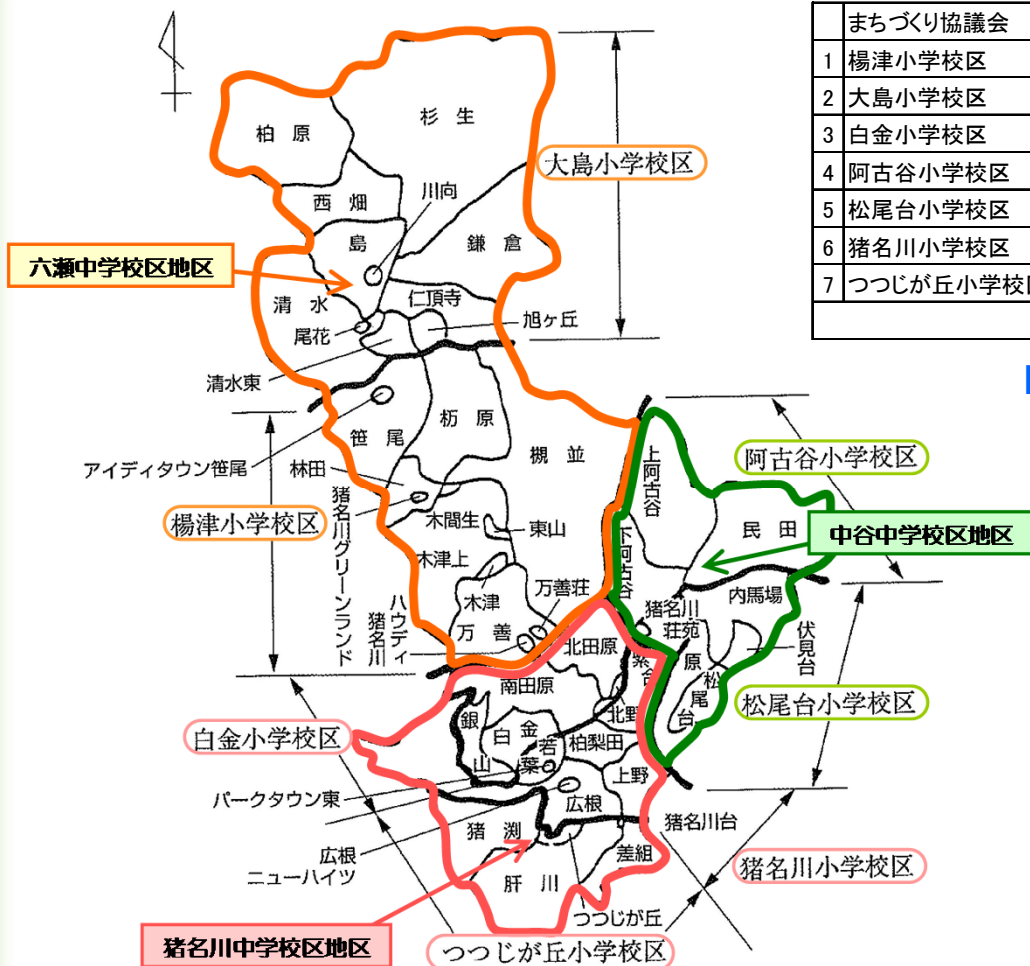


2 開催概要

●概要

- ・ ふれあいバス意見交換会は、まちづくり協議会単位（小学校校区：計7地区）で開催した。
- ・ 開催告知にあたっては、自治会を通じてチラシ等を配布した。
- ・ 参加者は、7地区合計で103人であった。

■意見交換会の開催地区



■意見交換会の開催概要

まちづくり協議会	日程	時間	場所	参加人数
1 楊津小学校区	6月26日(日)	18:30～	やないづ館(ふるさと館)	5人
2 大島小学校区	6月29日(水)	18:30～	大島小学校 総合学習室	30人
3 白金小学校区	7月3日(日)	18:30～	中央公民館 視聴覚ホール	4人
4 阿古谷小学校区	7月6日(水)	18:30～	阿古谷小学校 会議室	31人
5 松尾台小学校区	7月8日(金)	18:30～	日生住民センター	12人
6 猪名川小学校区	7月10日(日)	13:30～	中央公民館 視聴覚ホール	13人
7 つつじが丘小学校区	7月10日(日)	18:30～	つつじが丘小学校 多目的広場	8人
参加者合計				103人

■意見交換会 開催時の様子



■意見交換会 開催案内チラシ

猪名川小学校区

●猪名川町公共施設循環バス
「ふれあいバス」地域意見交換会の開催

日 時 平成23年7月10日(日)
午後1時30分～午後3時30分
(午後1時15分受付開始)

場 所 中央公民館(視聴覚ホール)

内 容 ふれあいバスの現状と課題
今後の利用について

ふれあいバスは、平成12年の運行開始以来、11年が経過しました。乗客は年々増加傾向にあり、利用状況も大きく変わっています。今回は、乗客のみなさんへ、利用状況や今後の利用について、お話を伺い、ご意見を伺います。ご参加ください。

運行ルートは？乗客は？
乗客は？
乗客は？

●申込み・問い合わせ先 猪名川町公共施設循環バス係
〒664-0001 猪名川町 中央公民館 1F
電話 072-736-6711 072-736-6712
Eメール kishikawa@nagano.jp

～ 地域でつながるふれあいバス ～

3 意見交換会での主な意見

- ・各地域から様々なご意見が挙げられた。
- ・以下にふれあいバスに関する主なご意見を項目別に示す。

■ふれあいバスのイメージについて

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
ふれあいバスは初めて利用するには乗りにくい		○		○			
どこを通るのか分かりにくい・不安になる		○					
ふれあいバスの事を全く知らない	○						
高齢者のみが利用できるバスだと思っていた				○			

■運行の考え方・目的について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
公共交通空白地域を削減するためには必要		○			○		
路線バスとの棲み分けが大事					○	○	
目的地までの速達性を重視するか、各地域をきめ細かく回るのかを考えを定めるべき		○					
ふれあいバスは福祉サービスとして続けるべき	○	○				○	
介護が必要な方は福祉による移動サービスを提供すべき		○					
ふれあいバスの運行を続けて欲しい			○			○	

■運行日について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
運行日を増やして欲しい			○				
北部の幹線となる区間は週6日間運行して欲しい		○					
運行日が限定されているため、利用しづらい						○	
運休日である日曜日も運行して欲しい	○						
運行日を固定ではなく、奇数・偶数の週で設定しては	○						
阿古谷地区は日曜日に路線バスが運休しているので、路線バスと同じコースで運行しては			○				

□：今回のふれあいバス見直しに反映している項目

3 意見交換会での主な意見

■運行本数について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
運行本数が少ないので増やして欲しい	○		○	○		○	
運行本数を増やすと便利になって、利用者が増加するのでは							○
目的地まで利用できても、帰りに利用できない					○	○	○

■ダイヤ設定について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
商業施設や医療機関等の開館・開業時間に合わせたダイヤ設定に		○					
始発を繰り上げてほしい		○	○				
利用しやすいダイヤに見直して欲しい(例: ゆうあいセンターの帰りの時間をもう少し繰り上げて欲しい等)	○	○			○	○	○
イベントの開催時間に合わせたダイヤ設定に		○		○	○	○	
利用者のニーズに合わせたダイヤで運行	○	○			○		
運行コースが重複する区間はダイヤを合わせてほしい	○	○		○			
北部コースと南部コースをが接続するダイヤ設定にして欲しい	○						
通学でも利用できるダイヤ設定に	○		○		○		○
路線バスと近い時間で運行しているので、ダイヤをずらして欲しい			○				
路線バスとの接続(紫合バス停等)を考慮して欲しい	○		○	○	○	○	

■所要時間について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
目的地までの所要時間がかかり過ぎる	○	○	○	○	○	○	○
目的地での滞在時間が短い				○		○	

□ : 今回のふれあいバス見直しに反映している項目

3 意見交換会での主な意見

■運行ルートについて

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
主要な目的地は全コース共通で乗入れをして欲しい		○					
運行ルートを短くしては			○	○			
医療機関を経由するコースにして欲しい	○						
コースの経由地の順番を見直して欲しい			○				
利用者が少ない区間やバス停は見直して欲しい	○		○				
松尾台2丁目(YMCA松尾台幼稚園や町立松尾台幼稚園)経由にして欲しい				○			
伏見台4丁目バス停が急な坂の下方にあるので、坂の上に移設してほしい				○			
若葉2丁目バス停をレックスパークの門の前(パークハウス猪名川の西側道路に)に移設してほしい						○	
猪名川荘苑内の運行ルートを見直して欲しい(例: 入口から左まわり(反時計回り)で地域内の外周を回る、バス停位置の移設等)			○				
保健センターの閉館時は玄関前まで乗入れをしなくても良いのでは						○	
住んでいる地域から公共施設(町役場や子育て支援センター(いなっ子きらきら館))への移動が不便			○				○
町道原広根線を利用したルート設定を				○			
市立川西病院まで延伸するコースを運行して欲しい			○	○			
日生中央やイオンモール猪名川等への特急便や準急便等(速達便)の運行	○	○	○	○	○		○
幹線と支線(小学校単位等)に分けた運行形態に	○				○		
中心部等(日生中央、イオンモール猪名川、医療機関等を結ぶ)での循環バスを運行	○			○			○

■料金・優待制度について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
ふれあいバスの運賃は安い(路線バスに比べ)	○				○		
料金を値上げするのであれば、サービスを向上すべき			○		○		
すこやかカード保持者も運賃を一部負担等の見直しをしてはどうか(ふれあいバスの収支率向上に向けた改善策として)	○		○				○
すこやかカード提示による無料化を続けて欲しい						○	
運賃を100円均一にしてはどうか							○
市立川西病院まで運行するのであれば、運賃を値上げしても良いと思う			○				
路線バスとの乗り継ぎ割引を導入してはどうか	○			○	○	○	
長距離利用者は上限料金を設定する等の運賃の見直し					○		

：今回のふれあいバス見直しに反映している項目

3 意見交換会での主な意見

■バス停について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
利用者が少ないバス停は廃止・休止してはどうか		○	○				○
利用者が1人でもあれば残し、0人であれば廃止しても良いのでは							○
利用者が少ないバス停がコース上にある場合は、存続させたままでも良いのでは						○	
バス停の設置間隔が長い			○				
自宅からバス停までが遠い			○				
路線バスに乗り換えができるバスターミナル等を整備しては	○						

■時刻表(バス停での掲出、時刻表のパンフレット)について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
日生中央等ではバス停での時刻表の文字を大きくして欲しい			○				
バス停の時刻表を見やすくして欲しい						○	
パンフレットの時刻表が複雑なので見やすくして欲しい							○

■車両の行先表示について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
車両の行先表示を分かりやすく改善して欲しい	○	○		○		○	○

■車両について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
高齢者の乗降時の負担を軽減させるためにバリアフリーに対応した車両(ノンステップバス等)に	○	○		○	○		
車いすの方も利用できる車両で運行すべき						○	○
車イス対応を前提に今と同規模の車両で良いのでは					○		
車両を小型化にしてはどうか	○	○	○	○	○		○
車両を小型化にして狭い道路にも乗入れては	○		○				
車両を小型化にして運行本数を増やす	○		○	○			
ゆうあいセンターでのイベントやイオンのバーゲン(毎月20日、30日のお客さま感謝デー等)開催時は、利用客が多く立っている時がある	○						
代替車両は、阪急バスの路線バスが使われており、ふれあいバスなのか分かりづらい	○						
バス車両が良く故障しているように思う	○						

□ : 今回のふれあいバス見直しに反映している項目

3 意見交換会での主な意見

■フリー乗降制度やデマンド交通の導入等について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
バス停以外でも乗降可能なフリー乗降制度を導入しては	○		○	○		○	
デマンド交通(デマンドバスや乗り合いタクシー等)の導入も検討すべきでは	○		○			○	○
1人あたりの経費によってはタクシー利用の補助も考えてみては							○

■利用促進策について

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
バスの乗り方についてのPRとして、大人向けの乗車体験を実施				○			
一般の方にもPRすべき						○	
ふれあいバスを活用したツアーの企画を							○
祭・イベントに合わせた宣伝や学校などでチラシ配布							○
ポイントカードを導入してはどうか							○
バスの運賃等の広報を実施してはどうか			○				

■ふれあいバスの見直しについて

主な意見	意見があった小学校区						
	大島	楊津	阿古谷	松尾台	白金	猪名川	つつじが丘
ふれあいバスは定期的に見直すべき(見直し基準の設定による見直しの実施も含む)			○		○		

□：今回のふれあいバス見直しに反映している項目

【参考1】猪名川町でのデマンド交通の導入検討

■全域でデマンド交通を導入

・現在のふれあいバスをデマンド交通に転換する場合

- ふれあいバスの1便目の1日あたり平均利用者は、北部1コースと北部2コースで22人、南部1コースで23人、南部2コースで10人であり、2台のバス車両で少なくとも約30名が希望する出発地から目的地への運送は困難である。
- 相乗りする人によっては、大きな迂回が生じ目的地までの所要時間が大きく変動する可能性がある。
- 利用者は利用の度に予約する必要がある。特に高齢者の場合、抵抗感を持たれる可能性がある。
- 運行エリアが広域のため、採算が悪化する。
- 予約状況に応じて経路を設定する人員が必要。予約者数が多い場合、人力にも限界がある。
- デマンド交通の運行管理システム導入は、多額な初期投資費用が必要。また、システムの維持や定期的な更新に関わる費用も必要。
- 予約を受け付けるためのコールセンターや人員の確保が必要となる。

・猪名川町全域でのデマンド交通導入にあたっては、ふれあいバスの利用状況や運行システム上、利用者及び事業実施側の両者ともに、非合理的であると考えられる。

■一部の地域でデマンド交通を導入

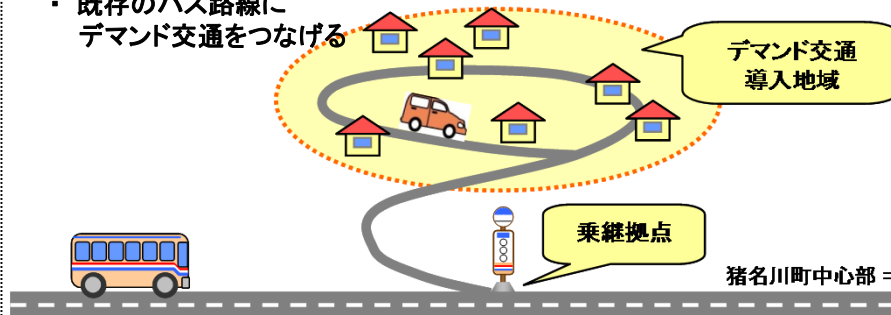
・現在の猪名川町の交通体系を維持した上で、一部地域のみデマンド交通に転換する場合

- ふれあいバスに加え、デマンド交通を導入するため、新たな費用負担が増大になる。
- 乗継拠点でふれあいバスや路線バスへの乗継が発生する。
- 町の中心部までの移動は乗継が必要になるため、料金が現在よりも割高になる可能性がある。
- 利用者は利用の度に予約する必要がある。特に高齢者の場合、抵抗感を持たれる可能性がある。
- デマンド交通の運行管理システム導入は、多額な初期投資費用が必要。また、システムの維持や定期的な更新に関わる費用も必要。
- 予約を受け付けるためのコールセンターや人員の確保が必要となる。

・一部地域でのデマンド交通導入にあたっては、初期費用、維持費、運行経費の面から新たな費用負担が発生等の課題が多いものと考えられる。

○一部の地域にデマンド交通を導入するイメージ

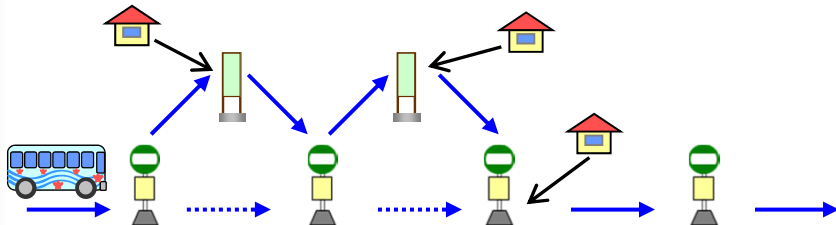
・既存のバス路線にデマンド交通をつなげる



【参考2】デマンド交通の運行形態別にみたメリット・デメリット

■迂回ルート・停留所間型

- あらかじめ迂回するルートが決められており、利用者からの事前の要望(予約)に応じて、停留所間の決められたルートを迂回運行



メリット

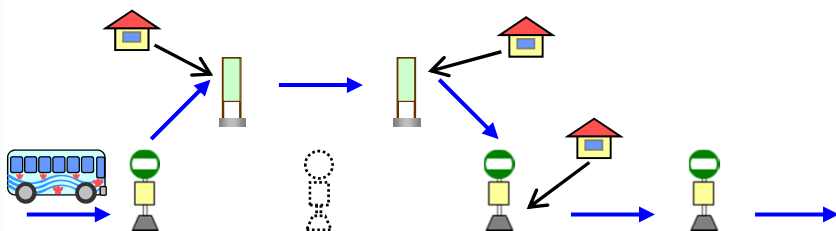
- ある程度ルートが決まっている為、運行時刻が読みやすい。

デメリット

- 予約の必要がある。特に高齢者の場合、抵抗感を持たれる可能性がある。
- 自宅近くの停留所まで歩く必要がある。
- 停留所で多少の待ち時間が生じる可能性がある。
- 停留所が分かりにくい場所にあると利用頻度が低下する。

■完全デマンド応答・迂回停留所設定型

- 利用者からの事前の要望(予約)に応じて、どのルートで運行するか(どの停留所を経由するか)を決定(乗車場所が指定されている)



メリット

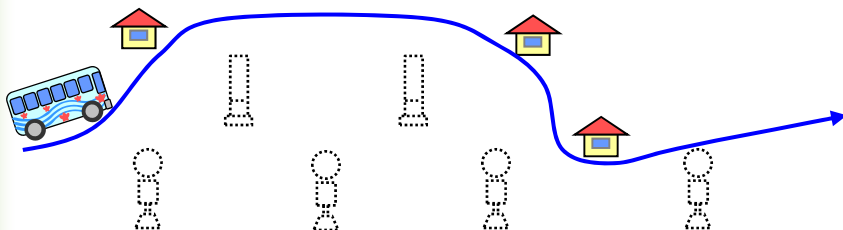
- 利用者からの事前の予約に対応して運行する為、無駄な運行がなくなる。

デメリット

- 予約の必要がある。特に高齢者の場合、抵抗感を持たれる可能性がある。
- 自宅近くの停留所まで歩く必要がある。
- 停留所で多少の待ち時間が生じる可能性がある。
- 停留所が分かりにくい場所にあると利用頻度が低下する。

■完全デマンド応答・ドアトゥードア型

- 利用者からの事前の要望(予約)に応じて、利用者を出発地まで迎えに行き、目的地まで運送(乗車場所が決めていない。)

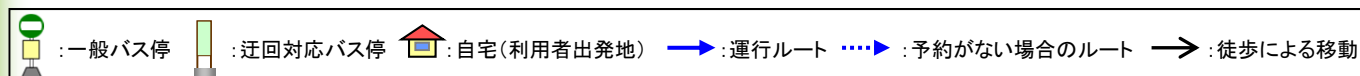


メリット

- バス停まで歩く必要がなくなる。
- 自宅から目的地までドア・トゥー・ドアで移動することができる

デメリット

- 予約の必要がある。特に高齢者の場合、抵抗感を持たれる可能性がある。
- 相乗りする人によっては大きな迂回が生じ、所要時間が大きく変動する可能性がある。



【参考3】タクシーによる交通手段の確保に向けた検討(1/2)

● 福祉タクシー

■ 概要

- ・福祉タクシーとは、道路運送法第4条の許可を受けた一般乗用旅客自動車運送事業者であって、一般タクシー事業者が福祉自動車を使用して行う運送や、障害者等の運送に業務の範囲を限定した許可を受けた福祉限定タクシー事業者が行う運送のことをいう。
- ・骨折や体調不良等で一時的にでも身体が不自由な方など、公共交通機関の利用が困難な方の乗車は可能である。

【メリット】

- ・車椅子やストレッチャー等に乗ったまま利用できるように、車両にリフトやスロープ等を取り付けたによる運行のため、家からタクシーまでの移動が困難な方も利用できる(公共交通利用が困難な方には有効な移動手段)。
- ・利用者の負担軽減等を目的とした、「障害者向タクシーチケット」を交付している自治体がある。

【デメリット】

- ・利用時は、事前に予約する必要がある。
- ・利用対象者が限定され、公共交通の代替手段としての役割として、成り立たない。

【県内での実施自治体】

伊丹市、明石市等

● 高齢者等のタクシー利用による補助

■ 概要

- ・過疎地における高齢者等の交通手段を確保するための取組みとして、高齢者世帯等がタクシーを利用した場合、タクシー料金の一部を自治体が補助する。

【メリット】

- ・低コスト化及び路線バスやコミュニティバス等が乗入れ困難な道路幅員狭小地域等への運行が可能。
- ・利用者は一般のタクシーと同様の利用ができる。

【デメリット】

- ・補助対象金額は、初乗り料金等限定されているため、路線バスやコミュニティバスと比べ、長距離移動時の利用料金負担は大きくなる。
- ・多くの自治体では、タクシー料金の補助対象者を自家用車を保有していない、高齢者世帯等と限定されているため、補助対象者以外の方は、全額負担となる。

【県内での実施自治体】

新温泉町、たつの市、淡路市等

【参考3】タクシーによる交通手段の確保に向けた検討(2/2)

● 猪名川町の高齢者等のタクシー利用による補助負担

■ 補助条件

- ・補助対象者：ふれあいバスを日常に利用する住民のうち、65歳以上の高齢者全員（※自家用車保有状況・世帯構成に制限なしとする）
- ・補助対象金額：1乗車あたり初乗り料金を補助（640円/回）
- ・年間補助回数：30回/年（※ひと月あたり2.5回を補助）

■ 補助対象者数

補助対象者を高齢者限定

- ・ふれあいバスを日常に利用する住民のうち、
65歳以上の高齢者：501人

※ふれあいバスを日常に利用する住民のうち、65歳以上の高齢者
ふれあいバスを日常に利用する住民の予測より
（第3回猪名川町地域公共交通会議 資料3 ふれあいバスの見直しについて）

■ 猪名川町の年間負担額

- ・補助対象者：501人
- ・補助対象金額：640円/回
- ・年間補助回数：30回/年
- ・猪名川町の年間負担額：
 $501(\text{人}) \times 640(\text{円/回}) \times 30(\text{回/年})$
 $= 9,619,200(\text{円/年})$

【参考】ふれあいバスの年間負担額

- ～平成22年度～
- ・ふれあいバスの運行経費：約2,450万円
- ・利用者1人あたりの運行経費：約890円

● 旭ヶ丘在住の住民の年間利用料金の負担例

■ 設定条件

- ・旭ヶ丘在住の70歳の方で、ふれあいバスを1週間に1回、日生中央まで利用（往復利用）する場合
- ・利用区間は、すいせん公園前～日生中央間

■ ふれあいバス利用時

- ・すいせん公園前～日生中央間の運賃（片道）：180（円）
- ・年間利用回数（往復利用）： $52(\text{週/年}) \times 2(\text{回/週})$
 $= 104(\text{回/年})$
- ・年間利用料金の負担額： $104(\text{回/年}) \times 180(\text{円})$
 $= 18,720(\text{円})$

■ 高齢者等のタクシー利用による補助を利用

- ・すいせん公園前～日生中央間の運賃（片道）
：2,960（円）
- ・年間利用回数（往復利用）： $52(\text{週/年}) \times 2(\text{回/週})$
 $= 104(\text{回/年})$
- ・年間利用料金の補助額： $640(\text{円/回}) \times 30(\text{回/年})$
 $= 19,200(\text{円/年})$
- ・年間利用料金の負担額： $104(\text{回/年}) \times 2,960(\text{円})$
 $= 307,840(\text{円/年}) -$
 $19,200(\text{円/年})$
 $= 288,640(\text{円/年})$

ふれあいバス利用に比べ、
1年間で約26万円の負担増

※タクシー運賃は、（社）兵庫県タクシー協会の小型車の運賃表に基づいて算出